

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	地域福祉対策プロジェクト		実施期間	平成25年度～	テーマ	地域福祉対策プロジェクト	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町では、山々に囲まれた地理的特性から豊かな自然環境に恵まれているが、鉄軌道や高等学校の施設が町内になく、学生を含めた若者世代や現役世代の町外への転出が発生しており、若者世代等の町外への転出は、地域の活力を減退させる原因にもなっている。</p> <p>地域を活性化させていくためには、子ども（子育て世代）から高齢者までの全ての世代の人々や障がい者の方が、住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、地域全体で支えあう福祉のまちづくりの環境整備が必要とされている。一方、交通福祉対策として、鉄軌道がない本町においては、近隣市町への交通手段は、バス若しくは自家用車等に限定される。しかし、近年、自家用車の普及等により公共交通（バス）の利用者が減少し、町内一部地域においては、路線自体が廃止され、交通手段が自家用車以外にない地域が存在している。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>住民の方々が、様々な年代において、直面している課題を克服しながら、安心して暮らしていけることができるように、子育て支援を始め高齢者福祉、障がい者福祉を充実させるため、各種事業を実施する。また、住民の足の確保充実のため福祉バスを運行することで、交通弱者をはじめとする住民生活を守る。</p>							
	総事業費（千円）	13,547	本年度事業費（千円）	13,547	交付金額（千円）	2,361		
プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	福祉バス運行事業	交付対象事業	高齢者及び障がい者等の日常的な交通手段を確保するため、福祉バスを運行し、住民福祉の向上を図る。			利用周知のための取り組みとして、福祉バスに関するクイズを出題し、正解者の中から抽選で町の特産品をプレゼントした。福祉バス運行ルート路線に住んでいる住民に対して福祉バスに関するアンケートを行った。		
	障がい者仕事支援事業	交付対象事業	障がい者の生きがいつくりと生活の安定向上を図ることを目的に、障がい者施設における仕事の在り方についての研究・開発・生産活動に対する支援等を行う。			（福）宇治田原むく福祉会の生産拠点となる農地の確保、安定した生産のため新たに府職員（農業専門職員）による生産指導につなげるとともに、販路拡大のため生産された野菜等の高付加価値化に係る機材購入経費の助成を行った。 〈補助実績〉 ・生産物高付加価値化機材購入助成金 300,000円		
	障がい者のための交通支援事業	交付対象事業	タクシー料金及び自家用車ガソリン代、各種施設への通所交通費の一部を助成することにより、障がい者世帯の経済的負担を軽減し、障がい者の生活行動範囲の拡大、社会参加の促進を図る。			○福祉タクシー利用券助成 ・152人に対し176冊を交付（使用率95.9%） ○障がい者施設通所交通費助成 公共交通機関を利用して施設に通所する方々に対し、交通費の2分の1を助成し、利用者の経済的負担の軽減を図った。 ・上半期分 11人 315,180円 ・下半期分 9人 306,890円		
	ファミリーサポート事業	関連事業	住民ボランティアとの協働で、「育児を手伝いたい方と、手助けをしてほしい方」を募り、子育て支援環境の充実を図る。			事業利用実績 12件 子育ての手伝いを通して、地域の方同士の交流をもつことができ、地域で子育てを支援する体制づくりを進めた。		
	証明発行・申請代行業「届ケール」	関連事業	高齢者等外出が困難な方に対し、町職員が協力して、町発行の各種証明書について代行（手伝い）を行う。			平成25年度実績…3件 町広報誌の毎月の「町カレンダー」にてPRを図った。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：宇治田原町

住民協働事業	「うじたわら安心のボトル」整備事業	交付対象事業	持病やかかりつけ病院などの情報を記載した「うじたわら安心のボトル」を配付し、自宅冷蔵庫に常備していただくことで、住民の安心・安全を確保する。	区・自治会において回覧により全世帯に対してチラシ・申込用紙を配付し、希望する世帯には返信用封筒により申込用紙を返送してもらい、救急医療情報キット一式は民生委員が友愛訪問を兼ねて臨戸訪問のうえ配布した。 ※平成26年3月末現在配付数 410世帯、619人	
	食の自立支援事業	関連事業	食事の作成ボランティア等との協働により、高齢者及び身体障がい者に昼食・夕食の配食サービスを実施する。	栄養バランスのとれた食事を提携するとともに、安否確認を併せて行い、高齢者の健康と生活の質を確保し、介護予防を図ることができた。	
成果指標①	成果指標の目標数値	障がい者生活の安定 ・福祉バス利用者の増 【24年度の利用者数】14,011名		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	【25年度の利用者数】 12,630名
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	利用者数は、昨年度より1,381名の減少。福祉バスの運行に関して、特段ルート変更等の大きな変更などはなかったが、アンケート結果なども参考に今後の運行等の改善に向けた検討材料として捉えていくことが重要である。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	障がい者仕事支援事業における収入・生産量の増 【平成24年度 施設における野菜の売上金】420,670円 (JA直売所・役場販売・各種販売等)		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	【平成25年度 施設における野菜の売上金】404,861円 (JA直売所・役場販売・各種販売等)
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	売上金は、平成24年度より15,809円減少(△3.7%)しているが、事業を通して本町の特産物・自然環境・人材などの地域資源を大いに活かした障がい者の仕事の場となっていると言える。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	経済的支援やサービスの提供等、様々な面からの活動により、宇治田原町の福祉環境の向上につながっている。福祉バスにおいては、利用者数が減少しており、住民が利用しやすいバスの運行管理等について検証していくことも必要である。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	住民の自治意識を高める成果	育児におけるマッチング事業や子育て交流の場の設置により、地域で子育てを支援する体制づくりを構築することができた。			
	行財政改革に資する成果	ボランティアの協力により、経費を抑えながら子育ての支援を図ることができた。			
	その他の成果	障がい者が継続して仕事に従事することで、自立した生活を送ることが期待でき、また仕事内容の充実のために地域団体等の支援を得ていくことで、地域活動の活性化に繋がっている。			